

## 令和2年度 指定管理者評価シート

### ■指定管理者

施設名	糸島市木工体験実習館 トンカチ館
設置目的	林業者と交流の場及び木材と触れ合い体験的に学習する場を提供すること等により、森林の重要性及び木の文化に関する市民の関心と理解を深めるとともに、林業の活性化を図るための拠点施設
指定管理者名	株式会社フロンティア・アドバンス
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日まで
記入者名	糸島市 産業振興部 農林水産課 楠原 一昭

### ■評価

【評価区分：◎優れている(5点)、○適正である(3点)、△改善が必要である(1点)、×抜本的な見直しが必要である(0点)】

項目	評価視点	評価区分	得点	理由(△、×の場合は具体的な改善すべき事項も記載)
業務の履行に関する事	協定等に基づき、指定事業が適切に実施されているか	○	3	協定書及び仕様書に基づいて適正に実施されていた。
	職員の人員配置は適正であるか	◎	5	適正に配置されていた。
	職員の労働条件は適正に保たれているか(賃金、労働時間等)	○	3	適正であった。
	職員に対して必要な研修等を実施し、資質向上に努めているか	○	3	コロナ禍の中で書籍等を通じて、でき得る限りの技術習得を実施していた。
	法令が遵守されているか(法定点検や検査等を含む)	○	3	消化器の点検・防火訓練を実施していた。
	開館日、開館時間は守られているか	○	3	定休日及び開閉館時間等、適切に行っていた。
	施設、設備、備品の管理及び保守は適切に行われているか	◎	5	毎日の清掃 備品台帳の記入 機器の1週間に1回の点検実施 木工機器の毎日の使用状況を記入を行い、道具等の適正把握に努めていた。
	利用の許可・制限が適正に実施されているか	○	3	必要書類の記入及び管理。その利用者等の把握をおこなっていた。
	利用者からの苦情に対し、適切に対応しているか	○	3	適切に対応していた。
	帳簿等は適切に整備・保存されているか	○	3	適切に整備、保存されていた。
	個人情報適切に取り扱われているか	○	3	鍵付きの棚に入れるなど、適切に取り扱われている。
	適正な会計・経理事務が実施されているか(利用料の適正徴収を含む)	○	3	適切に実施されていた。
	経費節減の取組がみられるか	○	3	節電等、経費削減の取組がみられた。
市への報告及び必要書類の提出は、遅延なく適宜行われているか	○	3	遅滞なく行われていた。	
得点小計			46	

項目	評価視点	評価区分	得点	理由(△、×の場合は具体的な改善すべき事項も記載)
サービスの質に関すること	利用者に対するサービス向上の取組がみられるか	○	3	啓発用木工品の充実や体験イベントで作成する木工品の工夫等がみられた。
	利用者増加の取組がみられるか	○	3	SNSやHP、広報による掲載に努めていたが、利用者はコロナ禍もあり、伸び悩んでいた。
	職員の接客態度(マナー、言葉づかい、服装等)は適切か	○	3	適切な接客をおこなっていた。
	自主事業の実施により、施設の魅力向上を図っているか	○	3	イベントを通じて、施設の魅力を発信していた。
	利用者の声を反映させるため、利用者アンケート等を実施しているか	○	3	イベント毎にアンケートを実施していた。
	得点小計			15
その他	事業拡大			コロナ禍により 実施していないため
	利用者拡大	○	3	月のイベントは、電気道具を出来るだけ多く使用するようにメニューを考え、様々な道具がつかえるよう努めていた。
	得点小計			3
合計点			64	
得点率 (合計点/(5点×評価項目数))			0.64	

総合評価	理由
○	新型コロナウイルス感染症により、休館や出張事業が制限される中、でき得る限りの感染防止の対策に取組み、事業を実施している。コロナ禍により、平年と比べて年間利用数等は減しているため、感染症予防を徹底しながら、コロナ禍の中でも多くの人に施設利用を通して木育などの啓発活動を行ってほしい。

【総合評価判定の目安】

- ◎ 優良 …… 0.75～1      ○ 適正 …… 0.50～0.74  
△ 改善必要 …… 0.25～0.49      × 抜本的見直し必要 …… 0～0.24

■指導及び助言

施設運営に関しては、適切に行われており、自主事業についても工夫や改善がみられる。今後は、木工品製作を通じて、森林の重要性や木の文化に関する、利用者の関心や理解を深める活動も重点的に行っていただきたい。

■R元年度評価の「指導及び助言」内容に関する対応状況(市による改善の指摘があった場合のみ)

- 改善済      □ 改善未済